

ご挨拶
会長



公益財団法人岩手県体育協会

会長 達増 拓也

平素より当協会の諸事業に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当協会は、平成25年4月1日より「公益財団法人岩手県体育協会」に移行し、新たな一歩を踏み出しました。

これを機に公益財団法人としての社会的役割を十分認識し、県民の皆様から信頼され、期待される協会を目指してまいります。

また、当協会は、本県のスポーツ振興の中核を担う団体として「競技スポーツの振興」、「生涯スポーツの振興」、「スポーツへの県民意識の高揚」の3つを大きな柱として、加盟団体や関係機関との連携強化を図りながら事業を展開し、その役割を果たしてまいります。

2016年には、「希望郷いわて国体」が開催されます。昨年の第68回国民体育大会において、本県の総合順位は、ここ10年では最高の23位という成績を収めることができました。

若手選手のすばらしい活躍により、これまでの選手強化の成果が目に見えた大会であったとともに、本県のスポーツ選手が全国で通用することが県民に広く認識され、スポーツへの関心や期待が増したと存じます。

開催まであと2年余りとなりましたが、全国の皆様に岩手の元気な姿を発信できるよう、また、2020年に行われる東京オリンピックで、世界に羽ばたく選手を本県から輩出することができるよう、より一層の選手強化に努めてまいります。

皆様からのこれまでのご支援に心より感謝の意を表するとともに、役職員一同、心を新たに、本県のスポーツ振興になお一層寄与してまいりますので、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。